≪A調査票≫　　東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターSSJデータアーカイブ
■ 調査番号 0861
■ 調査名　高度技能活用による茨城県北部の地域雇用開発に関するアンケート調査, 1997
※ 本調査票を引用する際には出典を明記して下さい。

# 高度技能活用による茨城県北部の地域雇用開発

＜ご記入にあたってのお願い＞

1 ご回答は質問に応じ選択肢の番号に○を付けるか、数字を □ にご記入下さい。
2 「その他」を選んだ場合は具体的な内容を（　　）の中にご記入下さい。
3 正確な数値がわからない場合は、概数でも結構ですのでできるだけご回答下さい。
4 調査結果は統計的に処理しますので、貴事業所の回答がそのまま表に出ることはありません。
5 ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、1月20日（火）までに投函して下さい。

問1　貴事業所は本社事業所（本社工場を含む）ですか。

1 はい → 問2へ
2 いいえ

→付問1　本社の所在地は以下のどれにあたりますか（一つだけ○）。

1 県北部臨海地域
2 その他茨城県内
3 近接県及び一円
4 首都圏（東京、神奈川、埼玉、千葉）
5 その他の国内
6 海外

→付問2　貴事業所の売上高は貴社全体の売上高のどの程度を占めますか。

1 ほぼ全部
2 約2／3
3 約半分
4 約1／3以下

問2　貴事業所の主要な製品を具体的にご記入下さい。（カマボコ、納豆、上質紙、潤滑油、コンクリート製品、ニット製品、電気メッキ、金型・同部品、集積回路など）



問3　貴事業所では特定の中核企業からの外注品（加工）を受注していますか。

1 受注している
2 受注していない　→問4へ

→付問1　その特定の中核企業は次のどれに該当しますか（あてはまるものにすべて○）。

1 日立製作所 → 14 日立工場（海岸・山手工場）
2 日立電線 → 15 電化機器事業部（旧多賀工場）
3 日立化成工業 → 16 國分工場
4 日立工機 → 17 大みか工場
5 1～4の企業が出資する子会社・関連会社 → 18 日立研究所
6 日鉱金属 → 19 計測器事業部（旧那珂工場）
7 日立セメント → 20 自動車機器事業部（旧佐和工場）
8 県北地域の日立系下請企業 → 21 水戸工場
9 県北地域の日立系以外の大手企業（日本原子力研究所、日本加工製紙等） → 22 日立工場素形材センター（旧勝田工場）
10 県北地域の日立系以外の下請け企業 → 24 電線工場
11 県北地域以外の1～4の企業の事業所 → 25 日高工場
12 その他の国内企業 → 26 高砂工場
13 海外企業 → 27 豊浦工場
→ 28 山崎工場
→ 29 山崎工場（桜川）

→付問2　上記納入先のうちで、最も納入量の多い納入先（第一位納入先）を一つ選んで下の空欄に番号を記入して下さい。

第一位納入先 □□

→付問3　第一位納入先への納入量は3年前と比べてどのように変化しましたか。

1 大幅に増えた
2 やや増えた
3 変わらない
4 やや減った
5 大幅に減った

問4　貴事業所の出荷額は、3年前を100とした場合、現在はどのくらいですか。

□□□　（指数でご記入下さい）

問５　貴事業所の事業再構築への取り組みで、①この３年間に実施したもの、②今後実施予定のもの、それぞれに関して、あてはまるものにすべて○をつけて下さい。

| | ①実施した | ②実施予定 |
|---|---|---|
| 新製品の開発 | 1 | 1 |
| 不採算品目の生産中止 | 2 | 2 |
| 業務の多角化 | 3 | 3 |
| 部品、原材料等の海外調達の拡大 | 4 | 4 |
| 自動化・省力化設備投資の強化 | 5 | 5 |
| 高精度、高品質化のための設備投資 | 6 | 6 |
| 生産設備のレイアウト変更 | 7 | 7 |
| ＴＱＣやＴＰＭなどへの取り組み | 8 | 8 |
| 物流コストの削減 | 9 | 9 |
| ジャストインタイム納入への取り組み | 10 | 10 |
| 社内業務の外部化・外注化 | 11 | 11 |
| 新規顧客や独自の販売ルートの開拓など、営業力の強化 | 12 | 12 |
| 共同受発注体制の確立 | 13 | 13 |
| インターネットなど情報通信ネットワークを利用した受発注 | 14 | 14 |
| 同一企業内における取引先事業所数の拡大 | 15 | 15 |
| 同一企業内における取引先事業所数の縮小 | 16 | 16 |
| その他（　　） | 17 | 17 |

問６　貴事業所の従業員構成についてご記入下さい。
（1997年12月１日現在、いない場合は０を記入。単位：人）

| | 全体 | 男性 | 女性 |
|---|---|---|---|
| 正社員 | | | |
| 嘱託・契約社員、パート・アルバイト | | | |

※　嘱託・契約社員、パート・アルバイトは、「1カ月を超える期間を定めて雇用している者」とします。



問７　貴事業所の正社員について、①職種別人数、②１９９７年１～１２月の採用実績、③過不足状況をそれぞれご記入下さい（いない場合は０を記入。単位：人）。

| | ①職種別人数 | ②採用実績 新卒採用者 | ②採用実績 中途採用者 | ③現在の過不足状況 1不足 2やや不足 3適正 4やや余剰 5余剰 6該当職種なし |
|---|---|---|---|---|
| 管理職 | | | | 1－2－3－4－5－6 |
| 設計・技術職 | | | | 1－2－3－4－5－6 |
| 事務・営業職 | | | | 1－2－3－4－5－6 |
| 生産工程従事者 | | | | 1－2－3－4－5－6 |
| うち監督職 | | | | 1－2－3－4－5－6 |
| その他（　　） | | | | 1－2－3－4－5－6 |

→付問　生産工程従事者で４５歳以上と３０歳未満の人数をそれぞれご記入下さい。

| | | |
|---|---|---|
| 生産工程従事者で４５歳以上 | | 人 |
| 生産工程従事者で３０歳未満 | | 人 |

問８　ここ３年間の従業員の採用に、どのような問題がありましたか（あてはまるものにすべて○）。

| | |
|---|---|
| 1 | 新規高卒者が採りにくかった |
| 2 | 新規大卒者が採りにくかった |
| 3 | 女子学生の応募者が少なかった |
| 4 | パート・アルバイトが集まらなかった |
| 5 | 定着が悪かった |
| 6 | 生産現場で働く人材が採りにくかった |
| 7 | 全般的に応募者が少なかった |
| 8 | その他（　　） |
| 9 | とくに問題はなかった |

問９　貴事業所で、不足していると感じる特定分野の人材（専門家）は、以下のどれですか（あてはまるものにすべて○）。

| | |
|---|---|
| 1 | 人事・労務の実務家 |
| 2 | 財務・経理の実務家 |
| 3 | 販売ルートの開拓ができる営業職 |
| 4 | 取引先金融機関に顔のきく人 |
| 5 | 生産現場をまかせられる技術者（工場長） |
| 6 | ＯＡ機器、ビジネスソフトなどに詳しい人 |
| 7 | 社長の相談相手になってくれる経営幹部 |
| 8 | 新製品の動向・技術情報に詳しい人 |
| 9 | 国際経験の豊かな人 |
| 10 | その他（　　） |

問１０　貴事業所と納入先企業や、外注先企業との人的交流の状況はどのようですか（あてはまるものにすべて○）。

| | |
|---|---|
| 1 | 納入先企業からの出向・転籍者の受け入れ |
| 2 | 貴事業所から納入先企業への応援・出向 |
| 3 | 貴事業所から外注先企業への出向・転籍 |
| 4 | 外注先企業からの応援・出向者の受け入れ |
| 5 | 人的交流は行っていない |

問１１　貴事業所では、ＯＪＴ（仕事を通じての教育訓練）を計画的に実施していますか。

| | |
|---|---|
| 1 | はい |
| 2 | いいえ　→　問１２へ |

→付問　具体的にどのように実施してますか（あてはまるものにすべて○）。

| | |
|---|---|
| 1 | ＯＪＴの指導担当者を決めている |
| 2 | ＴＷＩ研修等によりＯＪＴ指導者を養成している |
| 3 | やさしい仕事から難しい仕事へと計画的なジョブローテーションを実施している |
| 4 | 改善提案・職場小集団活動などを通し、能力開発の機会を提供している |
| 5 | 自己申告制度の面接時にフォローアップしている |
| 6 | 能力開発カードを作成し、能力開発目標への達成度を把握している |
| 7 | その他（　　） |

問１２　貴事業所の生産工程の自動化・ＦＡ化はどの程度進んでいますか（一つだけ○）。

| | |
|---|---|
| 1 | 完全に自動化されている |
| 2 | ８割程度自動化されている |
| 3 | 半分程度自動化されている |
| 4 | まだ自動化率は低い |
| 5 | ほとんど自動化されていない |
| 6 | 自動化できる工程が全くない |

問１３　以下の生産工程・業務で貴事業所内にあるものすべてに○をして下さい。

| | |
|---|---|
| 1 | 製罐 |
| 2 | 板金 |
| 3 | 溶接 |
| 4 | 機械加工 |
| 5 | プレス加工 |
| 6 | 鋳造 |
| 7 | 鍛造 |
| 8 | 熱処理 |
| 9 | 表面処理 |
| 10 | 塗装 |
| 11 | プラスチック成形 |
| 12 | ダイキャスト |
| 13 | 半田付け |
| 14 | 機械組立・仕上 |
| 15 | 電子・電気組立 |
| 16 | 原材料(紙、化学繊維、石油、木材など)の生産 |
| 17 | 食料品の生産 |
| 18 | 製品検査 |
| 19 | 製品開発・設計・製図 |
| 20 | ソフトウェアの開発 |
| 21 | その他（　　） |

→付問　どのようなソフトですか

| | |
|---|---|
| 1 | ＦＡソフト |
| 2 | 通信ソフト |
| 3 | ビジネスソフト |
| 4 | その他（　　） |



問１４　貴事業所にとって基幹的な工程・業務は問１３（上記の質問）の生産工程・業務のどれですか。その番号を記入して下さい。

基幹的な生産工程・業務　[　|　]

付問　その工程・業務を一人前にこなせるようになるには、どのくらいの期間を必要としますか（一つだけ○）。

| | |
|---|---|
| 1 | ２年未満 |
| 2 | ２～４年未満 |
| 3 | ４～６年未満 |
| 4 | ６～８年未満 |
| 5 | ８～１０年未満 |
| 6 | １０～１２年未満 |
| 7 | １２～１４年未満 |
| 8 | １４年以上 |

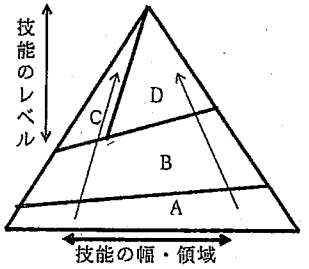
問１５　貴事業所の技能者を以下の４つのタイプに分けるとそれぞれ何人いますか。

Ａ　一般的技能者：Ｂ～Ｄ以外の技能者。（基幹的生産工程・業務の見習い工や、単純作業に従事する不熟練技能者がこれにあたる）

Ｂ　中堅熟練技能者：基幹的生産工程・業務を一人前にこなせる熟練技能者。

Ｃ　高度熟練技能者：特定の技能領域で一人前になるまでに１０年以上の経験を必要とするような熟練技能者。（例えば、超高精度機械加工、特殊半田づけ等の作業を担当できる技能者がこれにあたる）

Ｄ　テクノワーカー（技術者的技能者）：基幹的な生産工程・業務を担った経験を生かして、さらに高度な技術的知識を身につけた実戦的な技能者。（例えば、ＮＣ機やＭＣのプログラミング、ロボットのティーチング、保全作業などが担当できて、品質・生産管理もこなすような技能者がこれにあたる）




| | | |
|---|---|---|
| Ａ　一般的技能者 | | 人 |
| Ｂ　中堅熟練技能者 | | 人 |
| Ｃ　高度熟練技能者 | | 人 |
| Ｄ　テクノワーカー | | 人 |

問１６　貴事業所には高度熟練技能者はいますか。

| | |
|---|---|
| 1 | いる |
| 2 | いないので、高度熟練技能を必要とする仕事は受けない |
| 3 | いないので、これから至急に養成したい |
| 4 | いないので、今後は中途採用で補充する |

→問１７へ

→付問１　それはどのような作業ですか、また、作業内容とその作業を一人前にこなせるようになるまでに必要とする経験年数はおよそどのくらいですか。

| | |
|---|---|
| 例：超硬金型の組立・仕上げ | １６年 |
| ① | 年 |
| ② | 年 |
| ③ | 年 |

→付問２　それらの作業に従事している人の年齢について最も若い人、最も高齢の人、平均、それぞれの年齢をご記入下さい。

①最も若い人　　歳
②最も高齢の人　　歳
③平均年齢　　歳

→付問３　高度熟練技能を必要とする作業の今後の見通しはどれですか（一つだけ○）。

1 高度熟練技能を必要とする作業はなくなる
2 従来どおり、高度熟練技能を必要とする作業は残る
3 従来にも増して、高度熟練技能を必要とする作業は増える

問１７　貴事業所にはテクノワーカーはいますか。

1 いる
2 いない
→付問１　テクノワーカーがいない理由は何ですか（あてはまるものすべてに○）。

1 従業員の定着が悪いから
2 養成するための時間がとれないから
3 自前で養成するだけの資金的な余裕がないから
4 適切な社外研修機関がないから
5 親会社が非協力的だから
6 テクノワーカーを必要としないから
7 その他（　　）
→問１８へ

→付問１　平均年齢は何歳ぐらいですか。　　歳

→付問２　テクノワーカーとして１人前になるには、平均的にどのくらいの期間を必要としますか。

1 ２年未満
2 ２～４年未満
3 ４～６年未満
4 ６～８年未満
5 ８～１０年未満
6 １０～１２年未満
7 １２～１４年未満
8 １４年以上



→付問３　どのような人がテクノワーカーになってますか（あてはまるものにすべて○）。

1 新入社員の時から特別に養成した人
2 現場の技能者から選抜して養成した人
3 特に意識して養成はしていないが、経験年数の長い人が担当
4 将来技術者になる予定で見習いとして従事している人
5 職長・班長層がテクノワーカーの役割を担っている
6 経営者や後継者がテクノワーカーの役割を担っている
7 その他（　　）

→付問４　テクノワーカーの育成にどのような施策が効果的ですか（あてはまるものにすべて○）。

1 計画的なＯＪＴ
2 自社内での研修
3 親会社・関連企業などでの研修
4 設備機器等メーカーでの研修
5 地元企業の従業員同士の相互交流、勉強会
6 地元の経済団体や同業組合の研修
7 他地域の取引先企業の見学会や研修会
8 公共職業訓練校での研修
9 専門学校、各種学校での研修
10 通信教育の受講
11 自己啓発の支援（専門書購入費用の援助など）
12 その他（　　）
13 特にない

問１８　貴事業所で、現在不足しているあるいは将来採用したい技術者の分野はどれですか（あてはまるものにすべて○）。

| | | | |
|---|---|---|---|
| ｼｽﾃﾑｱﾅﾘｽﾄ・ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ | 1 | メカトロ設計技術者 | 15 |
| システムエンジニア | 2 | 工業デザイナー | 16 |
| ネットワークエンジニア | 3 | 生産技術者 | 17 |
| プログラマー | 4 | 生産管理者 | 18 |
| セールスエンジニア | 5 | 空調設備設計・施工管理 | 19 |
| フィールドエンジニア | 6 | 電気設備設計・施工管理 | 20 |
| サポートエンジニア | 7 | 配管設計・施工管理 | 21 |
| アナログ回路設計 | 8 | 特許技術 | 22 |
| デジタル回路設計 | 9 | 技術コンサルタント | 23 |
| 半導体開発設計 | 10 | 金属・材料技術 | 24 |
| 電子通信技術者 | 11 | 原子力技術 | 25 |
| 品質管理 | 12 | 化学技術 | 26 |
| 機械設計技術者 | 13 | その他（　　） | 27 |
| メカニカルエンジニア | 14 | 技術者は必要としない | 28 |

問１９　熟練技能者に対して若者が魅力を感じるようにするにはどうしたら良いと思いますか（あてはまるものにすべて○）。

| | |
|---|---|
| 1 | クラフトマン（職人）としての社会的地位の向上 |
| 2 | 高度熟練技能者に対して褒賞を与える |
| 3 | 熟練技能者が小中学校で体験談を話す機会を設ける |
| 4 | 熟練技能者の独立開業を積極的に支援する |
| 5 | 高校生を技能実習生として受け入れる |
| 6 | 若者をひきつけるようなきれいな工場にする |
| 7 | 新製品開発に参加させて、ものづくりの楽しさを体験させる |
| 8 | 工場のミュージアム化（博物館）を進める |
| 9 | 工業都市としてのイメージアップをはかる |
| 10 | 労働条件を改善する（賃金・労働時間・福利厚生） |
| 11 | その他（　　） |

＊問２０、２１では、貴社（貴事業所を含む会社全体）の概要についてお伺いします。

問２０　貴社の売上高と従業員数についてご記入下さい。

| | １９９２年度 | | １９９７年度（見込み） | |
|---|---|---|---|---|
| 売上高 | | 千万円 | | 千万円 |
| 従業員数 | | 人 | | 人 |

問２１　貴社の主要な活動分野は次のどれに該当しますか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

| | |
|---|---|
| 1 | 自社で企画・開発から販売まで行っている |
| 2 | 発注元が企画し、自社で開発、製造、販売を行っている |
| 3 | 発注元で企画し、自社で開発、製造し、発注元に納品している |
| 4 | 発注元で企画・開発し、自社で素材の調達、製造し、発注元に納品している |
| 5 | 発注元が企画・開発から素材調達・販売を行い、自社では加工のみを行っている |

付問　その中で最も主要なものを回答欄にご記入下さい。

最も主要なもの　□



問２２　茨城県北部臨海地域の振興のために、行政、商工団体等はどのような支援策を実施すればよいと思いますか、またそれらの組織に何か要望がありましたら、ご自由にご記入下さい。

| |
|---|
| ①地域での事業活動の活性化について |
| ②地域での技術・技能の高度化について |

以上で質問は終わりです。お忙しいところご協力ありがとうございました。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 貴事業所名 | | ご回答者名 | |
| | | 部署名 | |
| | | 連絡先 Tel　　－　　－ | |

※本調査結果の概要をご希望される方は、まとまり次第無料で送付しますので、以下に送付先をご記入下さい。

| | |
|---|---|
| 送付先 | 〒 |
| ご住所 | |
| 貴事業所名 | |